

|         |  |     |   |
|---------|--|-----|---|
| 科目名     | 検定英語 2   |     |   |
| 授業形態    | 演習   | 学年  | 1 |
| 開講時期    | 2023 年度 後期   | 単位数 | 2 |
| 担当教員    | 若林 達司  |     |   |
| 内容および計画 | <p>「検定英語Ⅱ」では TOEIC テスト受験でスコアを目指す学生に向けた授業です。授業は大きく以下の二つの部分で構成されています。</p> <p>1 TOEIC Part1 から Part7 までの練習－実際の TOEIC テストに望むためのポイントを各パートごとに練習します。</p> <p>2 TOEIC テストの模擬試験－リスニングセッション 4 5 分、リーディングセッション 7 5 分を授業各一回を用いて行います。</p> <p>この授業を受講することにより、以下の点が期待できます。</p> <p>1 TOEIC テストの全体像が分かること</p> <p>2 各パートごとの出題の特徴が分かること</p> <p>3 出題の特徴を理解することで、より高い得点が取得できること</p> <p>4 各パートごとの出題の特徴を知った上で問題を解くことで、英語力が向上すること</p> |     |   |
| 1       | Part 1<br>－TOEIC の入口 写真描写問題 ここでミスしないためのポイントを学びます   |     |   |
| 2       | Part 2<br>－Short conversation 問題 聞き取りのポイントを学びます  |     |   |
| 3       | Part 3<br>－図表のある対話問題 英語による会話に加えて図表が加わった問題にチャレンジします   |     |   |
| 4       | Part 3<br>－対話形式（3 者の対話） 難解な問題の一つですが、出題される際の要点を中心に学びます  |     |   |
| 5       | Part 4<br>－Short Passage のリスニングで気を付ける基本事項を学びます   |     |   |
| 6       | Part 4<br>－Short Passage のリスニング アメリカやカナダ、イギリス、オーストラリア英語の特徴を聞きとります  |     |   |
| 7       | Part 5<br>－基本的な出題傾向と解答の導き方 語形に関する問題、動詞の時制に関する問題など出題傾向を学びます   |     |   |
| 8       | Part 5<br>－確実に正解するためにすべきこと 前回に引き続き出題傾向を掴み取ることで高得点を狙える勉強をします  |     |   |
| 9       | Part 6<br>－長文中の穴埋め問題 傾向をつかむ 長文穴埋め問題のうち、Part5 と類似した出題傾向の部分を実際に正解するポイントを学びます   |     |   |
| 10      | Part 7 長文問題の練習<br>－基本の Single Passage でしっかり得点する Part7 のうち全問正解で切り抜けられるポイントを学びます   |     |   |
| 11      | Part 7 長文問題の練習<br>－Double Passage を克服する 難易度が一気に高まる Double Passage ですが、長文の中で読み取るべき部分がどこなのかを探る練習をします   |     |   |
| 12      | Part 7 長文問題の練習<br>－Triple Passage に挑戦する 大変難易度が高いと思われがちな問題ですが、その出題傾向を把握して、読み取るべき箇所を見つけ出す練習をします  |     |   |
| 13      | 模擬試験 1 回目<br>－試験概要の把握し、リスニングセッション（4 5 分）にチャレンジします。最後に解答の確認をして、間違えた箇所の振り返りをします  |     |   |
| 14      | 模擬試験 2 回目<br>－リーディングセッション（7 5 分）にチャレンジします。最後に解答の確認をして、間違えた箇所の振り返りをします  |     |   |
| 15      | 模擬試験の振り返り  |     |   |

|               |   |            |            |              |            |
|---------------|---|------------|------------|--------------|------------|
|               | <p>–各自のスコア確認と課題の発見 前回まで行ってきた模擬試験を総括し、各自の弱点部分（どのパートなのか）を知り、次回の得点に繋げるための勉強方法を模索します</p>  |            |            |              |            |
| <b>教科書</b>    |   |            |            |              |            |
|               | <b>タイトル</b>   | <b>著者名</b> | <b>出版社</b> | <b>ISBN</b>  | <b>発行年</b> |
|               | 特に指定しません。担当教員がその回毎に教材を準備します。  |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
| <b>参考書</b>    | <p>『TOEIC TEST 新形式模試 はじめての挑戦』、神崎正哉、やどかり出版、2016年<br/> 『TOEIC Listening and Reading TEST 標準模試1』、神崎正哉、やどかり出版、2016年<br/> 『TOEIC L&amp;R TEST 標準模試2』、神崎正哉、やどかり出版、2017年<br/> 『TOEIC テストマガジン』（会津短大図書館所蔵）</p> |            |            |              |            |
| <b>成績評価</b>   |   |            |            |              |            |
|               | <b>評価方法</b>   |            |            | <b>割合(%)</b> |            |
|               | 模擬試験における得点  |            |            | 100          |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
|               |   |            |            |              |            |
| <b>学習到達目標</b> | <p>模擬試験における得点で500点以上をクリアできる<br/> （TOEIC受験を前提とした英語の授業であるため、TOEICスコアを目標としました。これは年に3回行われるTOEIC IPテストを受験した結果でもかまいませんし、授業の最後の方で行う模擬試験でも結構です。）</p>  |            |            |              |            |
| <b>先修条件</b>   | 特に設けませんが、前期の「検定英語Ⅰ」と連続履修することで効果が上がります。  |            |            |              |            |
| <b>実務経験</b>   |   |            |            |              |            |
| <b>その他</b>    | <p>会津大学では年に2回～3回程度のTOEIC IPテスト（TOEICが実施する会場テストではなく大学教室を利用したテストで、会場テストと同等の結果が得られスコアも利用できます）を実施しています。大学が受験費用の一部を負担するシステムで、通常の会場テストより低いコストで受験できます。積極的に利用してください。実施日等は学期途中にアナウンスします。</p>                   |            |            |              |            |